

# 平成30年度 南丹市事例検討会 開催報告

日時：平成30年9月10日(月)15時00分～16時30分

場所：京都府南丹広域振興局 園部総合庁舎 ABC会議室

今年度の事例検討会は各市町単位で関係行政職とリハビリ職が集い、リハビリテーション活動支援事業について療法士がどのような形で関われるか検討を行いました。

今回は南丹市、南丹保健所、南丹市社会福祉協議会の各関係者や南丹地域の病院・施設で勤務する療法士の方々に参加頂きました。

検討会は次第に沿って行われ、まず初めに南丹地域リハビリテーション支援センターのコーディネーターからなぜ今地域の場にリハビリ専門職の関与が期待されているか、コーディネーター事業を通じて、実際に介入した地域の通いの場の事例紹介を行いました。その後、普段地域活動に関わる各行政職の方々から報告をしていただき、南丹地域における集いの場の実態や地域における取組みの一部を知ることが出来ました。各療法士からの意見としてこれから南丹地域における介護予防の啓発をどう進めるか、また体操の効果判定の問題や療法士間の指導内容の方向性の統一など、この地域における課題がいくつか挙がりました。まだまだ地域における課題も多いのが実状ですが行政職・リハビリ職がそれぞれの立場で専門性を発揮して、同じ共通認識の下で地域活動を進めていく必要性を感じました。このような取り組みを今年度は他の市町でも行い、地域のリハビリテーションの連携を強化できればと考えております。

